

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	福井支部	(2) 記載者氏名:	大和 康郎	会員番号:	13872	事務局整理記入欄	福井 - 32
分水嶺区分	W0835 ~ W084油坂峠 ~ W087滝波山 ~ 美濃平家手前1.7km	(3) 山行日:	2006年	4月	1 ~ 3日	(4) 天候:	晴 ~ 雨 ~ 濃霧

(5) 参加者氏名および会員番号		サポート要員氏名および会員番号					
宮本 数男	10622	大和 康郎	13872				
川口 宋	13904						
田路 繁男	13086						
牧田 正弘	13784						
計			5名	計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況													
コース概略:	油坂峠を通り岐阜県側から尾根に取り付き、油坂峠 ~ 白本山分岐(白本山) ~ 徳平山分岐 ~ 宇斗又 ~ 仏峠 ~ 白木峠 ~ 滝波山分岐(滝波山) 美濃平家岳に向かって登りかけたが、時間切れで美濃平家迄直線距離で1.7kmの所で分水嶺を引き返してP1098への支尾根に向かって降下する所で分水嶺を離脱した。												
アプローチ:	福井市よりR158にて大野市(旧和泉村)に入り、箱ヶ瀬の休止ドライブインの駐車場に車両1台残置。他の1台で旧R158の油坂峠に行く。 標高1236mで分水嶺を離脱し、荷暮川と野々小屋谷川合流点に向かって支尾根を降り、積雪の荷暮林道を通って箱ヶ瀬の駐車位置まで行く。												
地点コード	地点名	2.5万分の1地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着時刻	出発時刻	道の状況	(8)~(11)の特記事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	R158油坂峠登り口	白鳥	136	49	41.20	35	52	27.92	720.0		6:43		
分水嶺到達点	油坂峠北100m	白鳥	136	49	33.05	35	52	28.14	823.0	7:40	7:40	B-4	
W084	油坂峠	白鳥	136	49	33.71	35	52	25.78	815.1	7:43	7:43	B-4	
	P826	白鳥	136	49	44.58	35	52	2.54	826.4	8:50	8:50	B-4	
	白本山分岐	白鳥	136	49	43.74	35	50	56.98	1,085.4	11:56	12:12	B-4	
W085	白本山	白鳥	136	49	38.95	35	51	0.67	1,123.4	12:21	12:27	B-4	
	白本山分岐	白鳥	136	49	43.74	35	50	56.98	1,085.4	12:38	12:38	B-4	
	送電線鉄塔	白鳥	136	49	15.69	35	50	38.64	1,027.8	13:35	13:40	B-4	
	テント宿泊	白鳥	136	48	27.84	35	50	35.50	1,140.2	16:03	7:35	B-4	
	徳平山分岐	白鳥	136	48	7.76	35	50	38.58	1,158.5	7:57	7:57	B-4	
W086	宇斗又	門原	136	47	58.05	35	49	55.89	1,137.3	9:11	9:15	B-4	
	P1063	門原	136	47	53.06	35	49	21.32	1,070.6	10:36	10:36	B-4	
	鞍部	門原	136	47	54.13	35	49	15.43	1,017.9	10:45	10:45	B-4	
	P1095	門原	136	47	54.55	35	49	4.23	1,113.1	11:39	11:39	B-4	
	仏峠	門原	136	47	47.78	35	48	48.80	932.8	12:07	12:22	B-4	
	P992	門原	136	47	44.14	35	48	40.69	1,011.4	12:40	12:40	B-4	
	テント宿泊	門原	136	47	15.23	35	47	54.40	1,121.5	15:06	7:20	B-4	
	白木峠	門原	136	46	56.99	35	47	55.91	1,145.5	7:46	7:46	B-4	
	滝波山分岐	門原	136	46	34.11	35	47	55.29	1,408.9	8:46	8:46	B-4	
W087	滝波山	門原	136	46	27.63	35	47	52.09	1,434.2	8:56	9:00	B-4	
	滝波山分岐	門原	136	46	34.11	35	47	55.29	1,408.9	9:06	9:06	B-4	
	P1386	門原	136	46	27.18	35	48	6.69	1,390.7	9:31	9:31	B-4	
	P1098への降下点	門原	136	45	49.04	35	48	37.96	1,232.1	11:11	11:11	B-4	
	美濃平家登山中止	門原	136	45	41.07	35	48	37.72	1,213.8	11:21	11:21	B-4	
分水嶺離別点	P1098への降下点	門原	136	45	49.04	35	48	37.96	1,236.1	11:34	11:34	B-4	
	荷暮川・野々小屋谷川合流点	門原	136	45	9.69	35	49	33.75	705.5	13:40	13:50	B-4	
	旧荷暮集落跡	白鳥	136	45	46.69	35	50	51.59	599.5	15:54	15:54	B-4	
	箱ヶ瀬橋	白鳥	136	45	3.94	35	52	23.79	570.1	17:42	17:42	B-4	
歩行終了点	休止ドライブイン	白鳥	136	44	56.19	35	52	34.55	569.2	17:56		B-4	
総歩行時間(休憩時間を除く):												25時間33分	

(7) 三角点の位置と保存状況					
上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
W085	白本山				積雪の為、三角点は確認出来ず
W086	宇斗又				積雪の為、三角点は確認出来ず
W087	滝波山				積雪の為、三角点は確認出来ず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点	
油坂峠はほぼ稜線が一番低い所を油坂峠とした。その位置は国土地理院が公開している「地図閲覧」2万5千地形図(GSIMap25k.dim)記載の位置とほぼ一致した。但し、積雪により人工物は確認出来なかった。	
白本山は分水嶺を外れて福井県側に有り、山スキー2名の先客が居た。稜線の直ぐ下の福井県側の林道をベースに登って来ている。	
白本山分岐を過ぎてから、分水嶺稜線の上に送電線の鉄塔が1基有り。(御母衣谷ムからの送電線か)	
仏峠の鞍部(標高932m)付近は杉で鬱蒼として、積雪は少なく、石製の遺跡が両方の斜面に有る。(写真添付)	
岐阜県側の滝波谷より詰めた稜線の鞍部が白木峠と云われている。この鞍部は積雪が多くて人工物は確認出来なかった。	

(9) 水および植生に関連した特記事項	
岐阜県側に松・杉の人工林の植林がなされている。又人工林の管理の為と思われる黄色ペンキによる要所々の木々にマーキングがなされている。	

(10) その他の特記事項	
a. 長い行程なので、天気予報を毎日目見ながら実行日に快晴になる事を願った。残念ながら実行日の前々日が雨で山は新雪が積もっている事が予想された。実行日初日は晴、2日目は曇、3日目は曇後雨の予報であった。今年は天候が例年と違い数日続く快晴がない。メンバーの中にはこの行程を外すと参加の難しい者も居り、この時期を外すと難しくなる可能性も有ったので実行する事になった。	
b. 第1日目は晴後曇で天候はそれほど問題なかったが、予想通り新雪が30~50cm程乗っており、全員ワカンで5人交互のラッセルである。テント泊の予定地は徳平山分岐を越えての鞍部近くであったが、ラッセルによる疲労で徳平山分岐の手前約500mの稜線となった。テントの中では夜間雨になり明日の行程の難儀が予想された。	
c. 第2日目は雨の中で出発である。雨により新雪が抑えられワカンの沈み込みが小さくなり、ラッセルは少なくなった。只、前方の視界が見難く分水嶺以外の尾根に入ってしまう。GPS設定ルートの方向との相違に気がついたら元に戻ると云う事が度々有った。雨と視界不良等により余り進行せず(只、第一日目よりは距離は延びている)、白木峠手前約500mのピーク稜線に生えている大木(松)下でテント泊とす。夜間は雷と降雨があり、前日の雨で衣類寝具類が濡れ寒さで眠れない人が多かったのではないかとと思われる。	
d. 第3日目は強風とガスで気温も氷点下での出発である。白木峠の鞍部まで降下し、滝波山への急な登りを越えて滝波山分岐より岐阜県側に有る滝波山に登る。滝波山には大きな雪尻が出ていた。滝波山分岐に戻り、高度を下げ分水嶺に行く。ガスが出ているがGPS設定ルート外れに気がつき早めに修正する事が出来た。	
3日間の行程では美濃平家までは無理であると判明したので、P1098の支尾根への交点を少し美濃平家寄りに越えた所(直線距離で美濃平家迄約1.7km地点)を今回の分水嶺踏査の終点にした。P1098への支尾根に降りるポイント迄戻り、荷倉川と野々小屋谷川の合流点に降下した。後は除雪されていない荷倉林道を4時間掛けて車を残置した所(R158線の駐車場)に行くことになった。長い林道歩きが一番の疲れであった。	

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:

- 1) GPSのトラック軌跡をカシミールのソフトで加工し写真とした。(210KB)
- 2) 仏峠の石碑達(203KB)

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



1) GPSのトラック軌跡をカシミールのソフトで加工し写真とした。(210KB)



2) 仏峠の石碑達(203KB)